

# タイワンガザミの種苗生産と放流

増殖室 島袋新功

タイワンガザミの種苗生産と海浜囲網中間育成放流を行なった。その結果について報告する。

## 1. 親ガニとふ化状況

### 材料と方法

親ガニは勝連町漁協、沖縄市漁協で刺網で漁獲された天然産カニから、外卵量が多く健全な抱卵親ガニを選別し、缺脚をワゴムで固定したまま輸送及び飼育を行なった。輸送は5.0ℓポリタンクに親ガニの背甲の高さまで海水を入れ、通気をしながら1.5～2時間で陸上輸送を行なった。親ガニは屋内コンクリート水槽(2×1×0.5m)に収容し、冷凍アサリ、ムロアジ等を毎夕適宜投餌して流水飼育を行なった。

外卵が暗灰黒色になった親ガニは、夕方に缺脚のワゴムを外してから、弱通気を施した0.5㎡パンライト水槽(ふ化槽)に収容した。翌朝にふ化した幼生は、通気量を強くし幼生を分散させてから、内径1cmのガラス管を用いて10回の柱状サンプリングを行なって計数した。

### 結果と考察

本年度の勝連町及び沖縄市漁協の5月における漁獲量は、前年度と比べて少なく、また、雌親ガニの抱卵率も低く、個体も小さい傾向がみられた。ふ化槽に収容した親ガニの大きさとふ化状況を表1に示した。

表1 タイワンガザミのふ化状況

No	漁獲月日	甲幅(mm)	体重(g)	ふ化月日	ふ化幼生数(千尾)	備考
1	5. 10	136.4	230	5.11	490	活力良好
2	"	131.6	214	"	370	活力良好
3	"	123.3	158	"	100	未ふ化残卵翌朝ふ化
4	"	123.3	154	"	190	死幼生多い
5	"	142.1	232	5.13	390	不完全ふ化幼生、残卵翌朝ふ化
6	"	144.3	250	5.14	476	活力良好
7	"	126.6	126	5.15	387	活力良好
8	5. 25	124.6	138	5.29	382	活力良好

使用した親ガニの甲幅は12～14cm、体重126～250gで、中型個体が多く占めた。個体当たりのふ化幼生数は100～490千尾であった。タイワンガザミのふ化は、早朝の薄明時に